

加硫缶

加硫の発見

ゴムに弾性や強度を持たせるために、硫黄を加えることです。

1839年にアメリカのチャールズ・グッドイヤーが実験中、研究室で寝てしまい、硫黄の入ったゴムを誤ってストーブで加熱してしまったことでゴムが強度と弾性を持つことが発見されました。

当社保有加硫缶
直径:1.7m
長さ:6m
能力:200~300足/回



加工ライン



吊込み

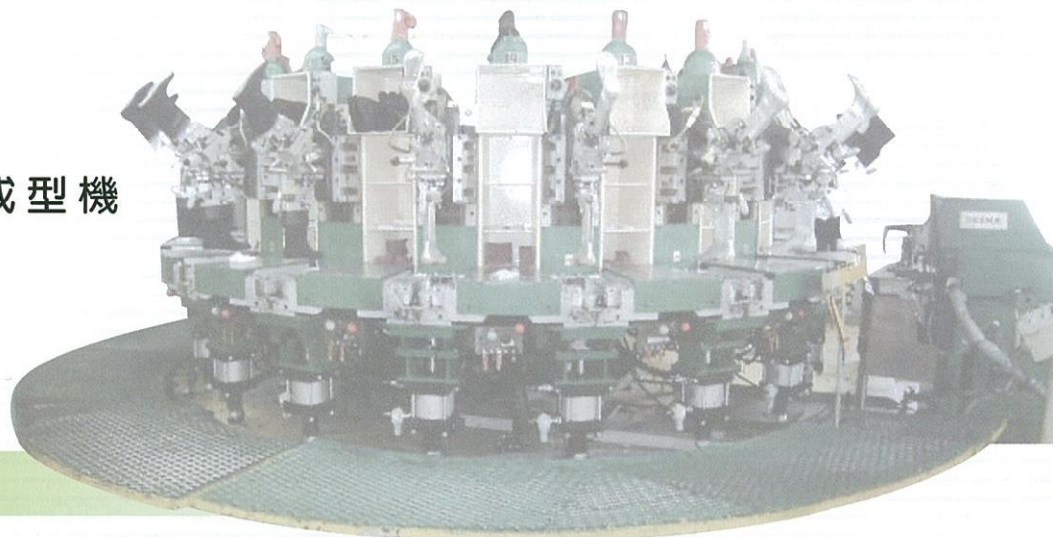


加硫



検査・包装後 お客様へ

射出成型機



製法)



アッパー



吊込み



射出(材料注入)



検査・包装後 お客様へ